



# 子どもの安全を守るのは保護者の責任です

新入園・新入学の時期になりました。子どもの安全を守る基本は、「子どもから目を離さない」「子どもの手を離さない」ですが、これから、子どもが外で活動することが多くなります。そこで、次の「6か条」を実践し、自分で自分を守る子どもに育てましょう。



**第一条 「気をつけて」の中身をしっかりと伝える**  
「気をつけて」と毎日のように子どもに言葉をかけていると思いますが、「何に気をつけるのか」をしっかりと教えていますか？大人は判っているつもりでいても、それを子どもは理解できていないのでしょうか？子どもの「理解力」「性格」「運動能力」など、親こそが一番知っている我が子のレベルに合わせて、具体的に「何から身を守るべきか」を判りやすい言葉で伝えましょう。

**第二条 「子どもの個人情報」を守る**  
「知らない人に声をかけられても、つい行ってはダメ」。親が、子どもによく言う言葉ですが、この言葉だけでは不十分です。「子どもが知らない人」という意味では判りますが、相手が子どものこと（名前等）を知っていたらどうでしょうか？

子どもの名前も大切な個人情報です。持ち物などの人目にふれる場所に名前を書くことは極力控えましょう。

**第三条 一人きりになる時間・場所を把握する**  
子どもが狙われるのは、一人きりのときです。特に、通学路等で一人きりになる時間と場所を把握し、一人きりになつたら、なるべく早く人のいる場所に移動することを教えるとともに、助けを求めるところにはどこに行ったら良いかについて、「子ども2番の家」「コンビニ」「交番」「知人の家」「病院」など、人がいる場所を教えておきましょう。



**第四条 大声を出す訓練をする**  
「何かあったら、大きな声を出しなさい」これもよく子どもに伝える言葉です。しかし、大人でも思いがけない場所で、突然襲われた際に、大きな声を出すことができるでしょうか？



いざというときに声を出せるかどうかは、訓練次第です。布団をかぶってお腹の底から大きな声を出す練習を親子でしてきましょう。  
犯行をたくらんでいる人は、実行時には緊張状態にあり、「音」と「光」を嫌います。まさか抵抗されるとは思っていないところ、予期していない「大声」をあげられたら、ひるんでしまいます。だからこそ、「大きな声を出すこと」は効果があるので、そして、襲撃者がひるんだすきに、全速力で走って逃げるのがベストです。

**第五条 防犯ブザーを使いこなす**  
どうしても声を出せない場合に備えて、強い味方があります。防犯ブザーを持つておくことです。自分では声を出せなかったとしても、防犯ブザーで音を出すことはできます。しかし、防犯ブザーを手の届かないランドセルの横につけてはいけません。いざというときに使えません。



また、「子どもに持たせていけば安全」と思っているようでは不十分です。あくまでも「道具」なので、使い方をしっかりと判っていないと、はなりません。ひもを引く時にどれだけの力が必要か、どんな音がするのか、一度、親子で練習しておくといでしょう。電池切れもチェックしましょう。

**第六条 シミュレーションを繰り返す**  
例えば、「おじさんのワンちゃんをどこかに行ってしまった。一緒に探してくれませんか」と、ニコニコと話しかけられたら、動物好きな心やさしい子なら、ついいていってしまうかもしれません。「キミくらい

子どもが好きなゲームを教えてください。後で一つ買ってあげるから一緒に買い物に行こう」と、ゲーム好きな子どもが声をかけられたら、誘惑に勝てないかもしれません。このように、子どもの好きな物、いわば弱点を突かれることを考えて、日頃からよく話をしておきましょう。そして、どんなことを言われても、絶対に知らない人についていけないように約束させましょう。お父さんが不審者の役をして、繰り返し練習しておくとうわりやすく、自然に身につくものです。【参照：<https://alabour.co.jp/>】

<p>知らない人について行かない</p>	<p>知らない人の車に乗らない</p>	<p>助けを求めるときは大きな声を出す</p>	<p>すぐ逃げる</p>	<p>知らせる</p>
----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	-------------

滋賀県防犯協会では、今春、各地区のライオンズクラブ様や企業様にご協賛いただき、県内の全小学校に『いかにおすし』のぼり旗をお届けすることとしました。学校の正門付近等で見かけたら、子どもさんと一緒に声を出して読んでいただくとともに、ご家庭でも、「いかにおすし」について、お子さんに繰り返し問いかけ、身につくよう指導してください。

**ご協賛いただいた団体・企業様** (順不同・敬称略)

大津ライオンズクラブ  
 近江八幡ライオンズクラブ  
 八日市ライオンズクラブ  
 能登川ライオンズクラブ  
 彦根ライオンズクラブ  
 長浜ライオンズクラブ  
 木之本ライオンズクラブ  
 高島ライオンズクラブ  
 株式会社日本警綜  
 株式会社ヒロセ  
 株式会社丸安商事